



校長室だより

～生徒も先生も、自ら輝く学校～
 「明るい学校」「温かい学校」「安心安全な学校」
 令和元年10月16日（水）
 発行者 坂口 修

○令和元年度後期始まる

10月15日（火）から、後期がスタートしました。生徒たちは、輝石祭に向け各ゼミに分かれ発表の準備に取り組んでいます。

さて、後期を迎えるにあたり、全校生徒に次のことを話しました。

松下幸之助氏の「成功した3つの理由」

松下幸之助さんは、電機メーカーパナソニックを一代で築き上げた経営者です。そして、「経営の神様」とも言われています。その、松下幸之助さんが、自分が成功した理由を3つあげています。

- ・貧乏だったこと
- ・学歴がなかったこと
- ・体が弱かったこと

この3つは、普通だったら「できなかった理由」になりそうなものです。

でも、このことについて松下さんは、こう言ったそうです。

*貧乏だったから、一生懸命働こうと思い、わずかな給料でも感謝できた。

*学歴がなかったから、他人に素直に教えてもらおうと思った。

（ちなみに、松下幸之助氏は、小学校中退です）

*体が弱かったから、人の能力を信じて、人に任せることができた。

物事の見方というのは、角度を変えることでどんなことでも「良い面」があります。

- ・それを見つけれられる、生き方をするのか・・・
- ・それに不満を抱えたままで、生きていくのか。

今「変わりたい自分」がいるなら、1つの出来事のなかからどうやって感謝を見つけるのか。常に考えてみることでと思います。

人は誰も完璧な人はいません。多かれ少なかれ短所はあります。その短所が長所にならないか、是非考えてみてください。

マイナス思考からは、何も生まれません。是非プラス思考になって、何事にも前向きに努力をしていって欲しいと思います。

始業式のときに、「謙虚な心と素直な心を持って欲しい」という話をしました。松下幸之助さんが成功した3つの理由の中に、感謝・素直と言う言葉がありました。まさに、松下幸之助さんは、謙虚な心と素直な心を持っていたからこそ、成功を収めたのだと思います。

みなさんも、素直な心を持ち、そして人の意見をよく聞き、常に感謝の気持ちを持って、自分自身を見つめることのできる人になってください。

そして、さらに素晴らしい石橋中学校をみんなの手で作り上げていってください。後期みなさんの頑張りに期待しています。

このことを常に意識して、今後の学校生活を送ってもらいたいと思います。

○下都賀地区学校体育連盟より表彰！

令和元年10月9日（水）下都賀地区学校体育連盟より、昨年度に引き続き今年度も表彰されました。この表彰は、下都賀地区で行われている、春の大会、夏の大会、新人大大会において、各部の大会成績の結果をもとに、上位3校が表彰されるものです。石橋中学校は、学校対抗表彰で下都賀地区総合体育大会で準優勝、下都賀地区新人体育大会で第3位の表彰を受けました。

夏の大会では3年生が、新人大大会では2年生が中心となって、それぞれの目標に向かって取り組んだ成果の現れだと思えます。

10月18日からは、県新人大大会が始まります。県大会でも上位を目指し、頑張ってもらいたいと思います。



全国学力・学習状況調査の結果

平成31年4月18日（木）に、3年生が「全国学力学習状況調査」を実施しました。この結果を分析し指導の改善を図り、さらに確かな学力の向上に努めてまいります。

◎：大きく上回っている（5ポイント以上） ○：上回っている（1ポイント以上、5ポイント未満）
 ー：同じ（プラスマイナス1ポイント未満）
 ▽：下回っている（1ポイント以上、5ポイント未満） ▼：大きく下回っている（5ポイント以上）

◎全国学力・学習状況調査結果

1. 教科全体の比較（全国平均正答率との比較）

3学年	国語	数学	英語	英語「話すこと」
全国との比較	▽	▽	▽	ー

2. 各教科の結果より

○国語

【良かった点】文章を読み、内容にふさわしい言葉を根拠をもとに考えて記述することができている。日頃より、自分の考えを書く努力をしている生徒が多い結果だといえる。

【課題】「話すこと・聞くこと」に課題があり、意見発表やスピーチの時間を積極的、継続的に行う必要がある。また、自分の考えを適切な言葉で表現することにも課題があり、感想や意見文（小論文）の書き方の指導時間を確保する必要がある。

○数学

【良かった点】図形分野（平行移動）では、全国平均を上回っている。また、図形〔合同条件・平行四辺形・ひし形〕の性質を理解している割合が多い。

【課題】記述問題に関する無解答率がやや高かった。授業の中で、式や数を見て、何を表しているものなのか説明できるような発問をし考えさせるなどの工夫が必要である。また、「資料の活用」「確率」など以前学習した内容については、正答率が低く既習内容を再確認する必要性を感じる。

○英語

【良かった点】グラフや絵など、視覚からの情報を処理して正答することができる。また、定期テストでよく取り上げられている問題の正答率が高い。

【課題】絵から読み取る問題では、数字や文字などの情報が追加されるなど、情報が多い問題に課題が残る。また、記述問題では、適切な文法や語彙を用いて解答することが課題である。日付や数字などのデータが含まれている問題を取り入れたり、英作文を多く書く機会を設けるなど工夫を図っていく必要がある。

○クリーン作戦（活動の様子は、ホームページにも掲載しています。）

9月24日（火）石橋中学校区で小中一貫教育の1つであるクリーン作戦が行われました。中学生が母校に出向き、小学生と協力しながら清掃を行い、交流を深めることができました。



石橋小学校



古山小学校



細谷小学校



石橋北小学校

